

P8310783.JPG 2019/03/15

慶応四年八月十三日より慶応四年八月十八日まで

P8310783right

茶溪邸より荷船を雇ひ、当亭の荷物一艘を運搬す、去る九日休左衛門へ致せし書付  
日野根へ持来処、無禄移住の向□□出立都合次第にて、□□申聞由、保三母同道来り  
小品持来、明日上総表へ母並弟共出立の由にて告前□□是迄茶溪邸合居の謝也□□時  
帰る、五郎来る、去る九日の謝也にて割煮品二種持来、且当分茶溪邸同居し□□あり  
午餐を勧む

十三日巳 陰漸晴夜雨

山下泉来り、鶏卵一折持来、初て面す、午餐等を勧む

十四日午 晴

宮城より紹介にて当荘一見に来りし者有し、□□の通り茶溪邸より荷船を呼び荷物を運

P8310783left

輸す、入夜北村未亡人来る、薩芋六□□持来、就枕後にて不面

十五日未 陰午下雨意

□□月に付団粉を買て供す、荷物運輸此の如し、三児を携へ泉□□楼に晚酌晚餐す

十六日申 雨終日

番町より家族一同昨日茶溪邸へ引移し旨也

十七日酉 雨終日

休左衛門来る、昨今御郭内騷擾の説有し、小石川より家族共此事俄(にわか)に茶溪邸へ来  
りし旨

北村並松倉、町へ炭壺俵を遣す、此度茶溪へ帰住による、礫川一家□□翌朝引取る旨追て申  
越す

十八日戌 雨終日

無記事

□□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。